

発行:青森県教育庁教職員課 (〒030-8540 青森市長島1-1-1)

1 令和2年度の働き方改革の取組状況を取りまとめました！

令和2年3月に策定した「学校における働き方改革プラン」について、令和2年末時点での取組状況を取りまとめました。(調査結果の詳細は、県教育委員会のHPをチェック！)

調査結果① 県立学校の取組状況

プランの取組状況		時間外勤務時間の状況				
プランで掲げる17の取組項目のうち、9割以上の学校で実施された項目	14 /17	高等 学校	1か月当たりの平均		1年当たりの平均	
			R1	41.7時間	R1	498.3時間
実施した学校のうち、9割以上の学校が「効果あり」とした項目	16 /17	特別 支援 学校	1か月当たりの平均		1年当たりの平均	
			R2	36.6時間	R2	439.1時間
			△	5.1時間	△	59.2時間
			R1	22.3時間	R1	267.1時間
			R2	21.7時間	R2	260.8時間
			△	0.6時間	△	6.3時間

CHECK! ○各校において、プランに掲げる取組項目が着実に実施されています。
○時間外勤務時間がR1から大きく減少しましたが、年間でみると、上限360時間を超えているため、引き続き働き方改革に取り組めます。

調査結果② 市町村教育委員会の取組状況

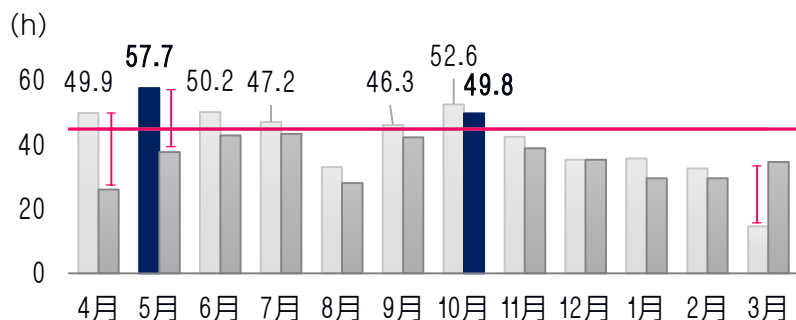
プランの取組状況		基本方針等の策定状況		時間外勤務時間の状況	
プランで掲げる14の取組項目のうち、8割以上の学校で実施された項目	8 /14	(市町村)		1か月当たりの平均	
				H30	約47.0時間
実施した学校のうち、8割以上の学校が「効果あり」とした項目	13 /14	R1	9	R2	34.5時間
				△	12.5時間
		中学校		1か月当たりの平均	
				H30	約71.0時間
				R2	47.8時間
				△	23.2時間

CHECK! ○時間外勤務時間は減少傾向にあるものの、中学校では依然月45時間を超えている状況です。
○働き方改革を推進するため、基本方針等について早期の策定をお願いします。

2 令和2年度の教育職員の時間外勤務時間の状況です。

県教育委員会では、四半期毎に県立学校の時間外勤務時間の調査を実施しています。

県立高校



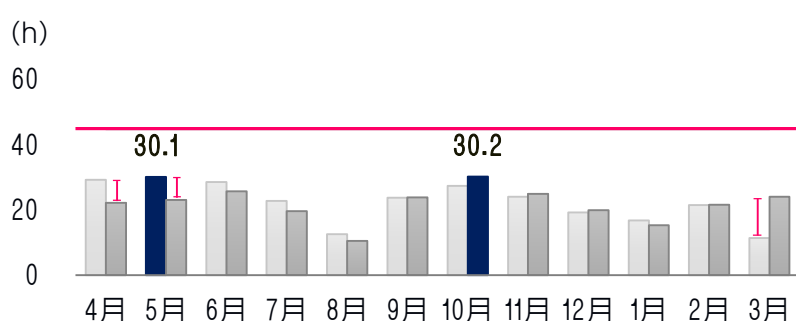
最も時間外が多かった月

R1 5月 (57.7時間)
R2 10月 (49.8時間)

45時間を超えた月数

R1 6回 (4~7, 9, 10月)
R2 1回 (10月)

特別支援学校



最も時間外が多かった月

R1 5月 (30.1時間)
R2 10月 (30.2時間)

45時間を超えた月数

R1、R2いずれも0回

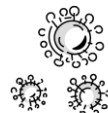
※1 左軸が令和元年度、右軸が令和2年度。

※2 数値は各年度の45時間を超えている月の値又は各年度の最大値（太字）。

CHECK!

○4~5月及び3月の変動は、R2.3からR2.5の間に実施された、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う臨時休校が影響していることを考慮する必要があります。

○年度初めの5月や、部活動の大会と3年生の進路指導時期が重なる10月頃が特に忙しくなる傾向にあるようです。



職場で時間外勤務時間を共有してみませんか？

調査結果について、皆さんの体感と比べていかがだったでしょうか？

県全体では時間外勤務時間は減少傾向にありますが、「減っている感じがしない！」という方もいると思います。

そんな時は、職場の時間外勤務時間について職員同士で話し合ってみてはいかがでしょうか？時間外が減った理由や増えた理由が具体的に見えてくるかもしれません。



！取組事例 募集中！

皆さんの働き方改革に関する取組を募集しています。

些細なことでもOK！皆さんの情報をお待ちしています^^

☎ E-KYOIN@pref.aomori.lg.jp

県教育委員会では、引き続き、関係機関と連携し、学校における働き方改革の取組を進めてまいりますので、皆様の御協力をお願いします。

青森県の「学校における働き方改革プラン」はこちらからチェック！→

